

臼杵市立南中学校

学力向上プランの概要

【授業改善テーマ】

「わかる授業づくり」～生徒の学ぶ意欲を高める指導の工夫～

- ① 「課題」の工夫と「振り返り」の徹底
- ② 「習熟の程度に応じた指導」の工夫

効果のある取組事例

- ① 指導方法や指導形態の工夫
 - めあて・課題・まとめを整理し、「振り返り」時間を確保する。
 - ・ 毎時間7分程度の振り返り（活用問題等）時間の確保
- ② 児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫
 - 「課題」の質を向上させ、生徒が興味・関心を示す「課題」を提示する。
 - ・ 課題の質の向上につながる校内研修の実施
 - 「努力を要する状況」の生徒への手立てを工夫して行う。
 - ・ 指導場面の設定（毎時間）
 - ・ テスト期間や長期休業における個別指導の実施
- ③ 読書活動の推進
 - ・ 読書活動の推進（図書室の環境整備、ビブリオバトルの実施、先生おすすめ本紹介等）
- ④ その他の学力向上の取組
 - ・ 授業規律の徹底（2分前着席、授業前の黙想、忘れ物チェック等）
 - ・ 朝学習の時間を使ってのNIEの取組（週1回）
 - ・ 意見文を書く課題の提示（週1回）
 - ・ 質問教室の開催（テスト期間、長期休業）
 - ・ アシスタントティーチャーを活用した放課後学習の実施（週1回：3年生対象）
 - ・ 進路・キャリア教育の充実（全校キャリアセミナーの実施、体験活動の工夫）

平成30年度 南中学校 授業改善の5点セット

【授業改善テーマ】
わかる授業づくり
～ 生徒の学ぶ意欲を高める指導の工夫 ～

- 【授業改善の重点】
- 1 生徒が興味・関心を示す工夫した「課題」の提示と「振り返り」の徹底
 - 2 「習熟の程度に応じた指導」の工夫

【取組内容①】

- 生徒が興味・関心を示す「課題」を提示する。
- めあて・課題・まとめを整理し、振り返り時間を確保する。

【取組内容②】

- 「努力を要する状況」の生徒の姿を想定し、その生徒に対する手立てを工夫して行う。

【取組指標①】

- 毎時間板書を画像に残し、月1回は課題について全員で協議する。
- 毎時間7分程度は振り返り（まとめ、習熟問題、振り返り）の時間を確保する。

【取組指標②】

- 学習内容から「努力を要する児童の状況」を想定し、毎時間習熟の程度に応じた指導場面を設定する。

【検証指標①】

- 「課題の質が向上した」教師の自己評価85%以上
- 授業の終わりにはその日の「振り返りがある」生徒評価85%以上（全教科）

【検証指標②】

- 「授業中にわからないことがあった時、先生はきちんと教えてくれる」生徒評価80%以上（全教科）
- 「先生の説明は短くわかくわかりやすい」生徒評価80%以上（全教科）

【学校評価の4点セットにおける達成指標】

- 「授業がわかる」生徒評価全教科90%以上